

2017

ゼロマリア 2030 キャンペーン

第2回報告書



Miki NAGASHIMA

ゼロマリア 2030 キャンペーン実行委員会

2017年10月13日

ゼロマラリア 2030 キャンペーン

2017 年 7-9 月経過報告

8 月 サイト一部修正

4 月 25 日付で特設サイトを一部修正し、ニュース情報の更新を容易にした。

* なお、修正に当たっての経費は Malaria No More Japan の一般広報費用より充当させている。

8 月 30 日世界蚊の日¹に合わせたトークイベントセッションを都内で開催

8 月 20 日の「世界蚊の日」に合わせ、Malaria No More Japan では Nagatacho Grid（東京都千代田区）にてイベント「モスクートウィーク 2017 日本の夏。蚊と暮らす夏」を開催した。イベントでは蚊に関する古典落語の上演のほか、日本におけるマラリアの課題など紹介された。当日はドリンクサービスのほか、八重山平和祈念館や琉球大学より借り受けたマラリアに関する資料や特に石垣島の戦争マラリアに関する紹介が行われた。最終的に参加者は研究者や支援企業などのほか、学生や落語に興味がある方、近所の会社の方など通常にない多彩な方にご参加いただき、総勢 70 名ほどのイベントとなった。終了後、参加者より落語という新しい試みが良い、という高い評価を受けている。

なお、本イベントで上演された落語は狂言の演目「蚊相撲」を下敷きに、江戸後期に上演されたものの、現在では上演されない「蚊いくさ」も練りこんだオリジナル落語となった。また、当日展示された八重山平和祈念館のパネルなどはすべて本年度の Malaria No More Japan より表彰した第 4 回ゼロマラリア賞受賞団体である石垣島の南山舎のご紹介、協力を得て展示されたものである。展示に当たっては事務局が石垣島を訪問、資料貸し出しについて打ち合わせたほか、関係者からも聞き取りを行って確定させた。

当日は実行委員会より神余隆博委員長に参加いただき、開会挨拶をいただいた。

イベント出演者：

桂歌助（落語家） <http://utasuke.com/index.html>

司会：たかまつなな（お笑いジャーナリスト） <http://profile.ameba.jp/takamatsu-nana/>

講師：斉藤美加（琉球大学）/Malaria No More Japan 理事狩野繁之（国立国際医療センター）、高木正洋（長崎大学）

¹ 毎年 8 月 20 日は世界蚊の日。この日はインド医務官を務めていたロナルド・ロス（Ronald Ross）がハマダラカの胃からマラリアの原虫を発見した日を記念した日です。1887 年（明治 30 年）にマラリアの原虫を発見したロス博士は、その翌年に鳥を使った吸血実験によって蚊がマラリアを媒介することを証明しました。ロス博士はこの功績によって、1902 年に第 2 回ノーベル賞（生理学・医学）を受賞しています。

イベントスケジュール

18：30 受付開始

19：00 開演 主催者として ZERO マラリア 2030 キャンペーン実行委員会より委員長の神余隆博（Malaria No More Japan 理事長/関西学院副学長）より挨拶と趣旨説明

19：05 司会と Malaria No More Japan 狩野、高木、琉球大学斉藤による蚊のトーク① 蚊の病気は何か。江戸時代までの日本の蚊対策の歴史

19：35 桂歌助「蚊相撲」上演

20：00 司会と斉藤、桂歌助による蚊のトーク② 沖縄の戦争マラリアとマラリア制圧の歴史

20：35 フロアからの質疑応答

20：55 主催者挨拶

21：00 終了

同時展示：沖縄のマラリア対策に関する資料（八重山平和祈念館、琉球大学より借り受け）

協力：南山舎、八重山平和祈念館、琉球大学





【登壇者 PROFILE】

桂歌助：

本名：関口昇（せきぐちのぼる）。新潟県十日町市出身。昭和 60 年 12 月 師匠歌丸に入門、歌児となる。昭和 61 年 3 月 横浜三吉演芸場で初高座、昭和 61 年 5 月 前座になる 平成 2 年 6 月 ニツ目に昇進、歌助に改名。平成 11 年 5 月 真打昇進。大学では数学を専攻し、英語研究部に所属し、在学中に落語家になりました。古典落語の公演を中心に仕事をしております。インターネットを落語にいち早くとりいれました。平成 11 年には東海道五十三次すべての宿場で落語会を行いました。平成 12 年 T B S「水戸黄門」に準レギュラー出演。宿場落語を創作発表して参りました。平成 25 年 NHK 時代劇「薄桜記」に幫間役で出演。舞台役者としては新宿コマ劇場にて細川たかしさんのお芝居に、三越劇場にて春秋男組公演のレギュラー出演をしています。<http://utasuke.com/>



斉藤美加：

琉球大学医学研究科ウイルス学教室 獣医学博士、国際開発学修士 助教

北海道大学獣医学部卒業後、青年海外協力隊員としてトンガ王国、アテニシ大学高校で人間生物学、実験室の立ち上げ、教科書製作に従事。その後、バックパッカーで世界を放浪、インドの病院でのボランティアを経験し、価値観の物差しが変わる。帰国後、釧路市立博物館にて、ラムサール条約準備に従事し、健康と環境に関心を持つ。その後、東京大学熱帯医学研修の後、琉球大学医学部教官として勤務、現在に至る。その間、ラオスで 2 年間 JICA 専門家として、蚊媒介性疾病の疫学調査及び対策に従事した。同時に NGO 南風プロジェクトを立ち上げ、代表として、ラオスの中堅医師の第 3 国派遣、保健衛生活動、学校保健を通じて、デング対策を行った。これらの活動で、1994 年ラオス保健大臣賞を受賞。現在は、蚊媒介性疾患対策の経験を沖縄に還元するため、沖縄県感染症研究拠点形成促進事業の動物媒介性分野、蚊媒介性疾患班の班長として、IT 技術革新との連携、ネットワーク構築を積極的に行い、今年から八重山の蚊の調査を開始した。ご当地キャラ、蚊の怪人ガジャンダバーを世界に売り出す事を画策中。



たかまつなな：

お笑いジャーナリスト、お嬢様芸人、社長、大学院生、YouTuber

【所属】(株)笑下村塾、東京大学大学院情報学環教育部、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科

【夢】お笑い界の池上彰になりたいと奮闘中

【ご参考】

- [YouTube たかまつななチャンネル](#)
- [たかまつななメルマガ](#)
- [たかまつななオフィシャルサイト](#)
- [\(株\)笑下村塾オフィシャルサイト](#)



【参考】

* モスキートウィーク 2017 とは

2016 年から Malaria No More Japan では、8 月 20 日前後を「モスキートウィーク」とし、蚊にまつわる情報発信や広告掲載などを実施しています。今年、「ゼロマラリア 2030 キャンペーン」の一環として、モスキートウィークではイベント及び「#zero2030」ハッシュタグキャンペーンを開催します。モスキートウィークを通じて、これまで蚊や蚊が運ぶ病気に関心のない方にも知ってもらい、キャンペーンの趣旨に賛同、支援していただくきっかけを提供したいと考えています。

9 月 30 日現在の実行委員会就任状況

現在以下の委員がメンバーとして公表されている。

- 神余 隆博（認定 NPO 法人 Malaria No More Japan 理事長、運営委員長）
- 鵜尾 雅隆（認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会代表理事）
- 大河原 昭夫（公益財団法人 日本国際交流センター理事長／グローバルファンド日本委員会ディレクター）
- 尾身 茂（独立行政法人地域医療機能推進機構理事長）
- 北 潔（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長）
- 木村 泰政（UNICEF 東京事務所 代表）
- 近藤 哲生（国連開発計画（UNDP）駐日代表）
- スリングビー BT（公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 CEO 兼専務理事）
- 武見 敬三（参議院議員）
- 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

なお、これまで委員会への参加を打診していた、長谷川 学（内閣官房国際感染症対策調整室新型インフルエンザ等対策室 企画官）氏は実行委員会メンバーではないものの、キャンペーン趣旨に賛同し、助言を行うアドバイザーとしての就任を受諾いただいた。

これらの情報はゼロマラリア 2030 ウェブサイトに掲載済である。